



性玩具で
連続絶頂!!

二人の乙女が欲望の餌食になる!!

純潔を散らされ...

見知らぬ男たちに...!!

そんな
卑猥な...!!

お前さんの口で
お願いされたら
止めてやるよ

孕ませツクス

モンスター級の

慰み者に...

連続中出し

コイコイ
コイコイ
コイコイ

おっおっおっ

彼女たちが
絶頂地獄に
堕ちた話。

えっと…
この辺りまで来れば
大丈夫よね…

も、もう
我慢出来ないから…
よし！
ここでしちゃおう！

フッ

ピアン力は我慢していた
尿意を解消するため
パーティーがいる街道から離れて
森の奥まで入って来た。

はあ〜…

やだ!

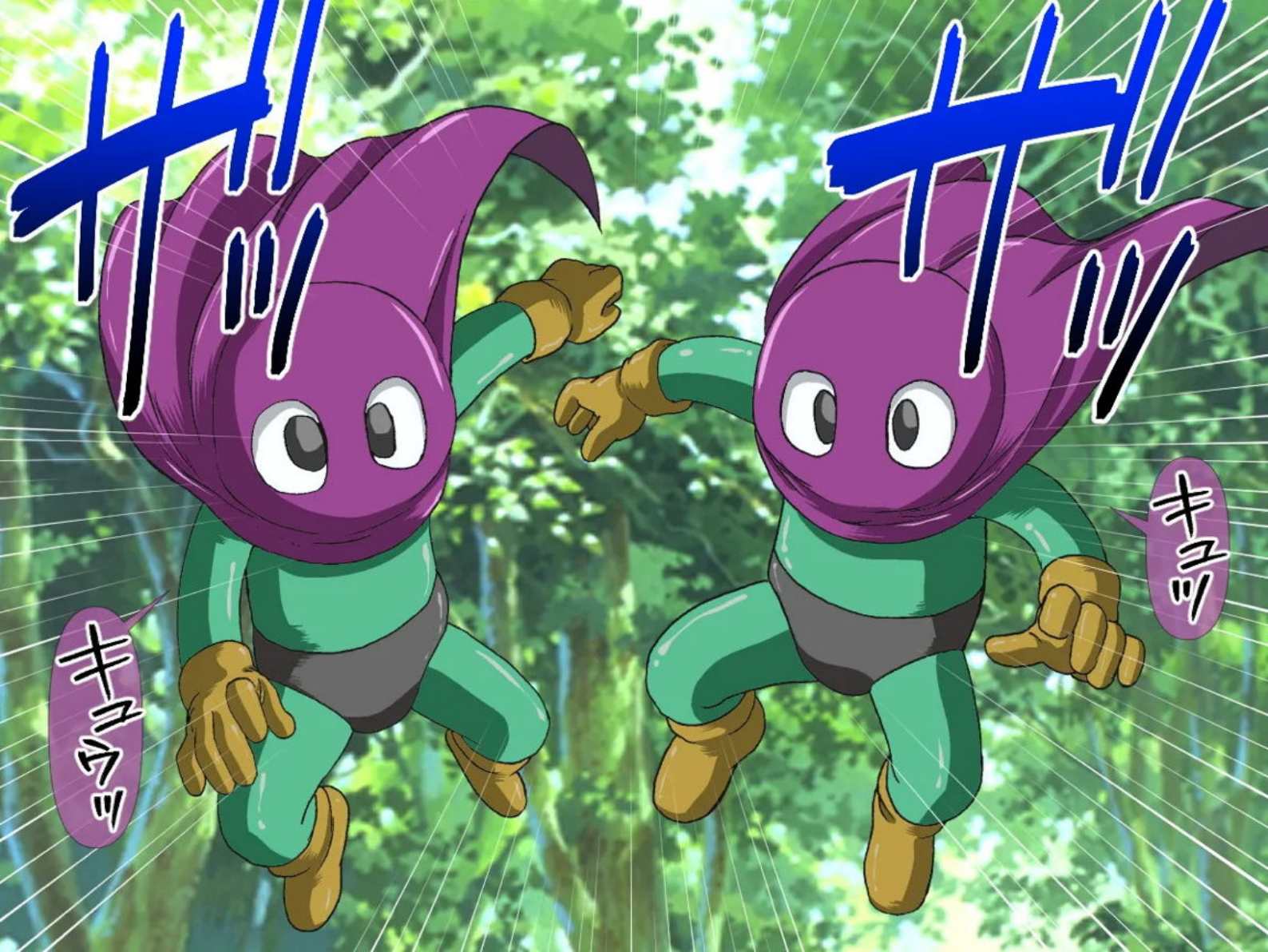
ずっと我慢してたから
おしっこいっぱい
出ちゃってる

ん…ッ

ニャ
ア
ア
ア…

この森はモンスターが
多いって有名だけど
少し奥まで来て正解だったわ。

こんなに打ちちゃってるのが
皆に知られたら恥かしいもの



卄卄三

卄卄三

モンスターには
違くないけど…

ずいぶん可愛いのが
出て来たわね

キムタマ

敵意は感じないわね
可愛いんだけど…

一応モンスターだし
どうしたものかしら…

キムタマ

ニムニム

ニムニム

ニムニム



きゃッ！
なつっこいわね！

キムム〜

モ〜リヤッ

お〜お
ヤッ

オ〜オ
ニ

オ〜オ
ニ

ちよつと!?

…えっ?

キムム〜

ちよつと！
な、なにをするの！！

お、おっぱい
吸われてる?!

おッ

おッ

露出した胸をしゃぶり出す子ザイルたち。
ピアノカは突然の行動に
呆然として固まってしまふ。



赤ちゃんってこんな
やらしい吸い方するの?!
乳首がムズムズする!!

あんツ

ダメツ!
離れてツ!!

子ザイルを離そうとするがピクともしない。
どころかその間もフローラのおっぱいを
しゃぶり続けてくる。

しゃぶり
しゃぶり

これ以上おっぱい
吸わないでえッ!!

さすがに
これ以上はマズいッ!

子ザイルたちが母乳を出そうと一生懸命
乳首を吸う行為は快感を生んでしまう。
慌てたピアンカは必死で抵抗する。

しゃしゃしゃしゃしゃ
しゃしゃしゃしゃしゃ
しゃしゃしゃしゃしゃ
しゃしゃしゃしゃしゃ

母乳を拒否されて子ザイルたちが盛大に泣き出す。
一匹の泣き声は静かな森に大きく響き渡った。

きやん!!

きやん!!

きやん!!

きやん!!

きやん!!



ダメダメッ!

そんなに泣いたって
おっぱいはダメなのッ!

母乳なんて
出ないんだから!

それに吸い方が
やらしいし!!

オオオオオ
オオオオ

ピアノカの説得が通じない二匹は
取り上げられたおっぱいを求めて
更に大きく泣き叫んでしまう。

ちよ、ちよつと！

私が苛めた
みたいじゃない！

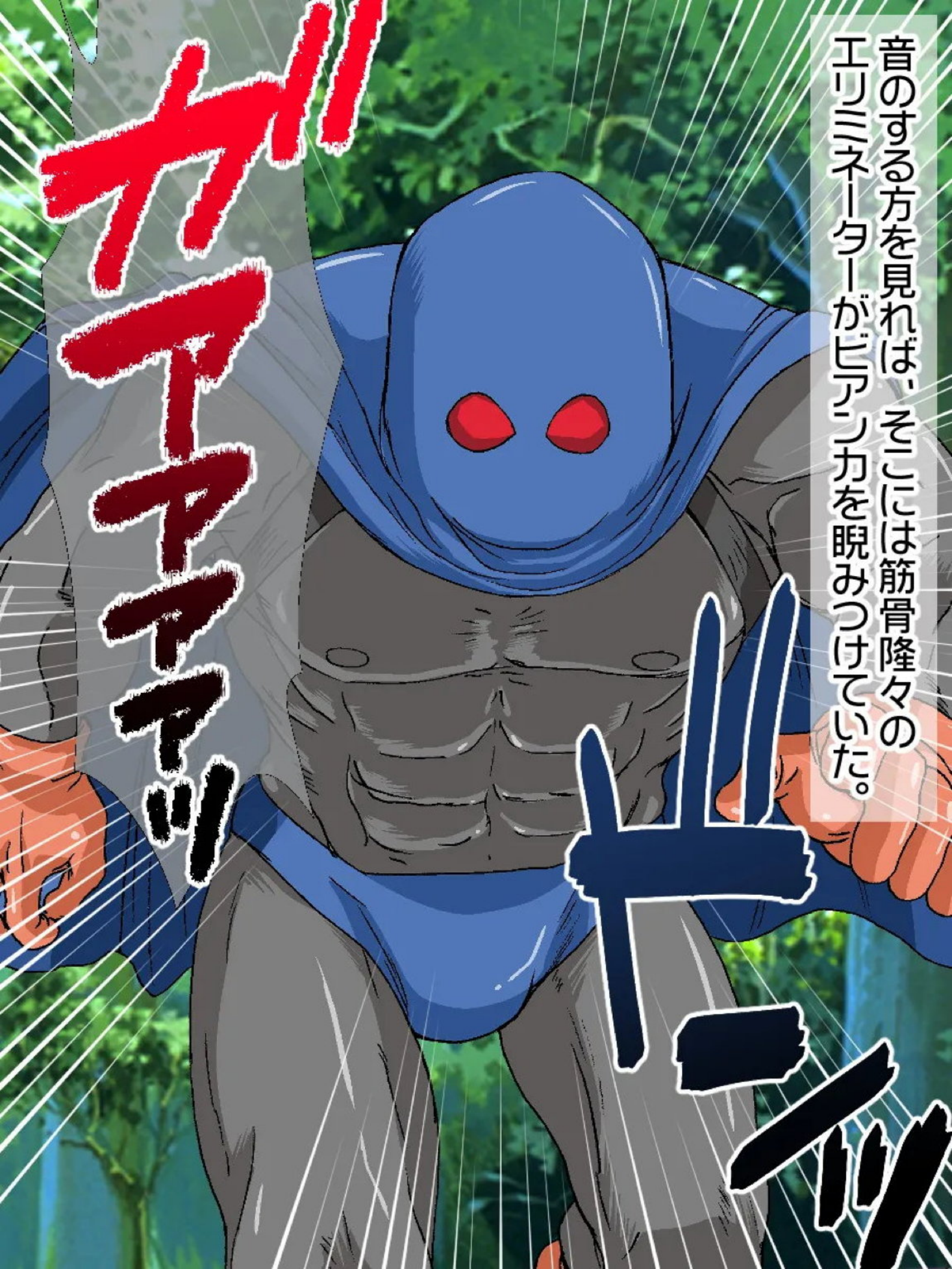
私はモンスターだからって
弱いもの苛めはしない
主義なんだから！

モンスター

モンスター

おかし

音のする方を見れば、そこには筋骨隆々の
エリミネーターがピアンコ力を睨みつけていた。



エリミネーター!!

な、なんでこの森に
こんな高レベルの
モンスターがいるのツ?!

ど、どつしよう…
足が…!!

今のピアンカのレベルでは
戦える相手ではないモンスターの出現に
足がすくんで動けない。

え？え？
ち、ちがッ！

私虐めて
ないからッ！

ねッ？
泣かないで！
お願いだからッ！！

キキキキキキ

キキキキキキ

エリミネーターから強い怒気を感じ
誤解されていると判断したピアンカは
慌てて子ザイルを泣き止ませようとするが…



キヤあまッ

斧が刺さって……ッ!?
ど、どうしようッ
逃げられないッ!!

エリミネーターが投げた斧はピアンカの服を
巻き込んで木に突き刺さった。身動きが
取れなくなったピアンカにエリミネーターが迫る。



研究

研究

……あ……

ああ……ッ?!

エリミネーターに襲撃されたと思ったが
無残な姿になったのは服だけで
無傷のピアンカは裸体を晒し拘束されていた。

な、なにが起こったの?!
私……まだ生きて……る?!



ひいッ?!
な、なにッ?!

何でそんな物出すの?
何をする気ッ!
……ま、まさかッ

い、いやあッ!
近寄らないでーッ!!
離してッ!!

ズッ
ズッ

ピアンカの眼前にエリミネーターの
勃起した生殖器が露になる。
生まれて初めて見る雄の男根に
羞恥と恐怖でパニックになっていく。

やだッ…

無理無理!!

私まだ経験

ないんだからーッ!!

モンスターに犯される
なんて絶対イヤッ!!

初めてがこんな

モンスターなんて嫌ッ!!

誰かッ!!

誰か助けて〜ッ!!

脈打つ凶器が未通の秘部に近づいて来る。
抵抗を試みるも拘束は解けず
助けを求めるピアノ力の声が森に響く。

キッ
キッ
キッ

おま

あ、熱いのが当たって…ツッ!!
こんなの入らないツッ!!
入れられたくないツッ!!
怖いよおお〜ツッ!!

いや…ツッ
いやッいやいや…
やめツ…!!

熱く硬い亀頭が入口にあてがわれ
肉壁が捲られて押し広げられていく感覚に
ピアンカ力はガタガタと震えか細い声が零れる。

ムムムム!

ムムムム!

痛いッ!!
痛いッ!!
痛いッ!!
痛いッ!!

アッー
あッあッ
あッあッ

かッッ

グッ
グッ
グッ
グッ

カッ
カッ
カッ

ッ
ッ
ッ

エリミネーターの腰が一気に押し込まれた。
未通の狭い膣穴をふち抜いて人間男性の比ではない
巨根が容赦なくめり込み激痛がピアン力を襲う。



ざざざざざ
ツ

痛いツ!!
アソコが
焼けるううう
ツツ!!

ああ...ツ入って...くるツ!!
私の身体の中に...

エリミネーターがあ...ツ
わたしの...初めてがあ...ツツ!!

ッ
あがッ

X
X
X
X

ズキ
ズキ



おおおおーッ

い、痛い…ッ!!

裂け…るっ…ッ!!

き、きつと裂けてる…! 私のアンコ…
裂けて酷いことになってる…!!

…そっか…私…このまま

お腹の中を裂かれて…死んじゃうんだ…!!
これがコイツの殺し方なんだ…さい…てッ



ギョッ
ギョッ
ギョッ

ギョッ

痛みとショックで意識が朦朧としかけるが
膣への衝撃で現実へと引き戻され
更に絶望していく。

ひいああッ

あッあッ
あッあッ

早く…早く終わってっ!!
もおっ何でもいから
早く終わってっ!!

アッ!!
アッ!!
アッ!!

そつ…のまま
全部抜いてえ〜ツツ!!

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ

ズル

ヒッ
ヒッ

ヒッ
ヒッ

グロテスクな男根がピアンカ力の秘部から出てくる。
先程まで処女だった膣内に到底収まる
質量ではない物がずり出て来る光景は異様だった。

そんなあつ!!
また奥つに…っ

あッあッあッ

んああッ

壊れちゃうーっ!!

しかしピアノ力の懇願空しく、カリ部が膣口を
押し広げた所まで引き抜かれた直後には
再び根元まで埋没して肉壁と子宮を抉った。



おおッ

そんなにツ激しく
動かさな…てえッ!!

おおッおおッ

おおッ

おおッ

も、もう…
痛いのか熱いのか…
わからないっ!!

おおッ

ピアンカカの反応を楽しむように
エリミネーターの腰が激しく律動を繰り返し
彼女の小さな体を弄んでいく。

エリミネーターの突然の咆哮と共に男根が膨らみ次の瞬間熱い液体がピアンカ力の最奥に打ち付けられた。



おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

いやあぁー

熱いのがあ…ツ
奥に当たってるん…ツ!!

熱いツ!!
熱いツ!!

あああツ

モンスターが…

私のお腹の中に射精してる!!

私の中がモンスターの

いっぱいになってるん…ツ!!

あぁー
あぁー
あぁー
あぁー
あぁー



あッあッ

や…あッ

…いや…あ…ッ

んあッ

んあ…

あ…

や、やつと…中から
出て行つてくれた…
熱い…痛い…
気持ち…悪い…ッ

んんん

ズッ

ズッ

射精を終えた男根が膣から抜かれると
栓を外された穴から粘性の高い
白濁の液体が大量に零れてきた。

…あッ!!

あ…ふくッ…あッ
あッ…あ、あ…

いやあ…ッ

凄い音が…アソコから…
こぼれて…いく…!
ああ…ドロドロが…らっぽん…

ゴッ
ゴッ
ゴッ
…

ドロドロ
ドロドロ
ドロドロ

中に射精されて…
わた、し…本当に
犯されちゃったんだ…ッ

自分の性器から溢れ出る大量の
液体の感触に犯され中出しされたという
現実が一気にピアニカを襲ってくる。

サッ

キヤあッ

いや…ああ…
まだ中から…
こぼれてる…ッ

ゴポゴポ…
いつてるう…!!

あぁ…

んあ…

ポッポッ
ポッポッ
ポッポッ

びしょ

地面に放り出された
拍子に体内に
残っていた精液が
空気を含みながら
吐き出された。



ああ…ッ
まだなの!?!
んんん

気持ち悪いよお…

早く全部
出でてよお…ッ

初めては好きな人に…
アイツにあげるって
決めてたのに
…よりによつて
こんなのっ…うんん

しろうお〜

片思い中の男の顔が
脳裏をかすめ
ビアンカは自分に
起こった現実に変更
打ちのめされた。



涙が止まらない…
泣いてる場合じゃないのに…

そう…よっ早く…
早く逃げなきゃ…

はは…体が…
動かないや…

どう、しよ…

凌辱直後の体は
思ってる以上に消耗し
力がまったたく入らず
逃げる事が出来ない。



きゃッ!!

セー
ン
ズ
ク
ッ

な、に…? っ
縄がッ
う、動けないッ!!

あッッ…

突然縄が飛んできて
ピアンカの体は再び
拘束され同時に
怪しい影が近づき…





エリミネーターが再び襲ってくるのかと覚悟して仰ぎ見れば、そこに居たのは新たなモンスターだった。

大きな炎がビアンカの眼前に迫る。
揺らめく炎に焼き殺される
未来が脳裏をかすめた。

まさか…焼かれる!?

残ってる服に火を!!
それとも肌に直接!?

ガッガッガッ

あ…ッ

あ…ッ

びびる

びびる

びびる

びびる

肌におぼけキヤンドルの蟻が落ちる。
直に強い刺激を受けて
ピアニカの体が大きく跳ねる。

ひいあッ
…ツンめつツン!!
お腹に蟻がツ!!

な、なにツ!?
じわじわと
焼き殺す気!?

水ッ
タッ

あッ

あッ





やめてえッ

あぁッ

あぁッ

ホッ

ホッ

あぁッ

あぁッ

あぁッ

あぁッ

あぁッ

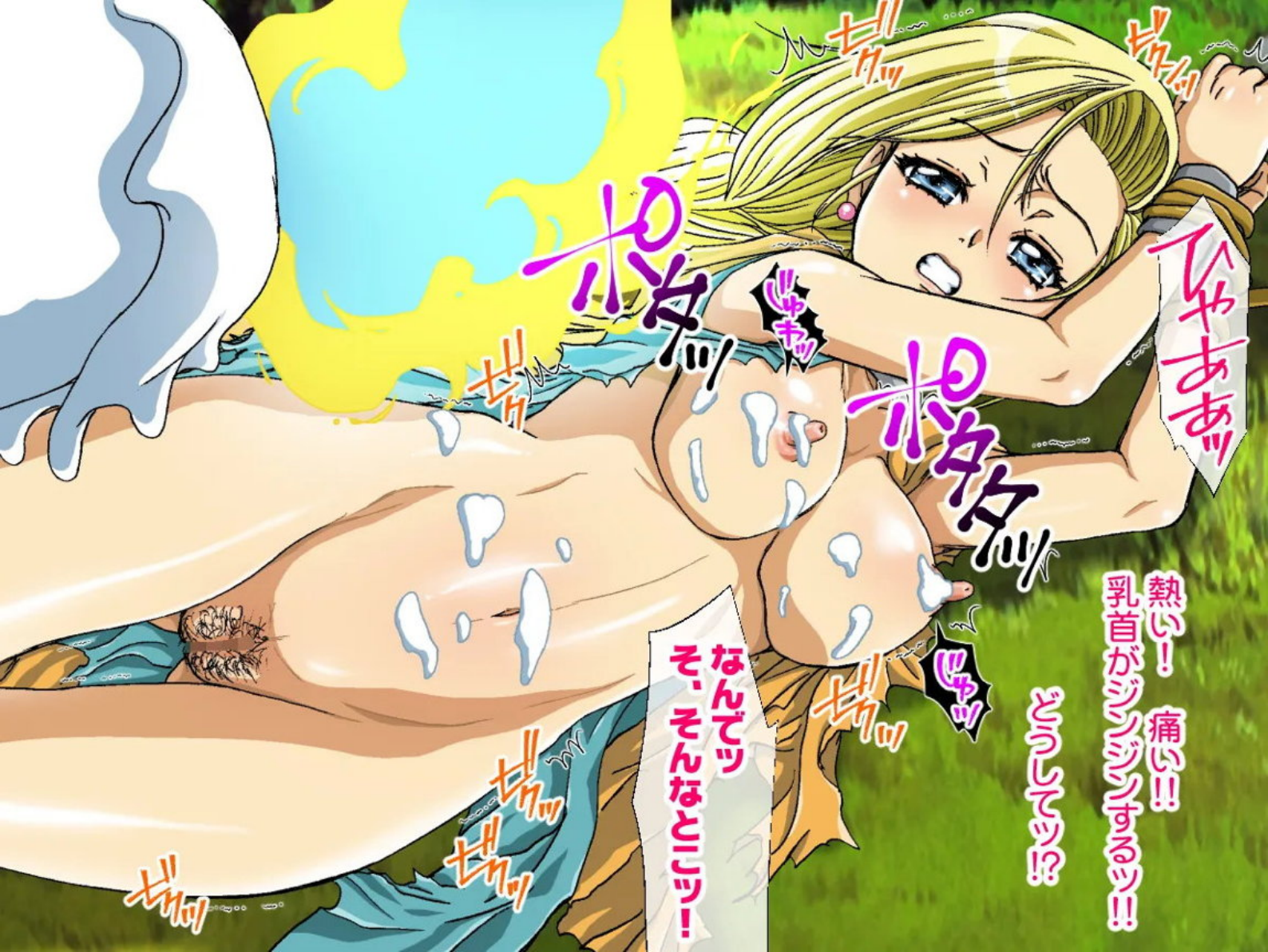
あぁッ



蠟が付着した場所から
じわじわと熱さと痛みが広がって
ビアンカの肌を蝕んでいった。

熱いッ！
蠟が落ちたところが
ジンジンするッ！！

おおッ



アッアッアッ

熱い! 痛い!!
乳首がジュンジュンな感じ!!

ジュンジュン

ジュッジュッ

ジュッジュッ

なごんじん
そ・ぞんやうにー

ジュッジュッ

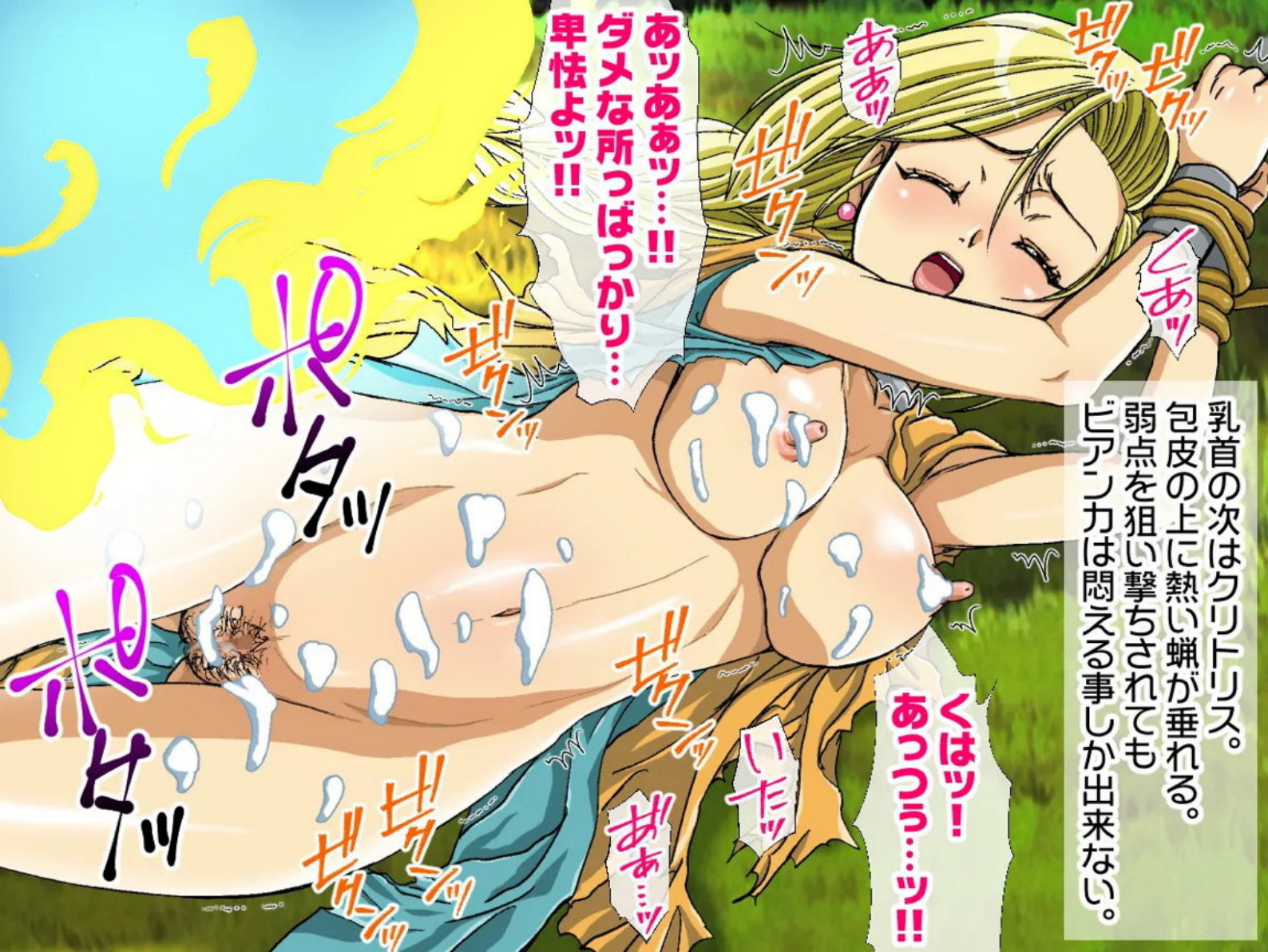
ジュッジュッ

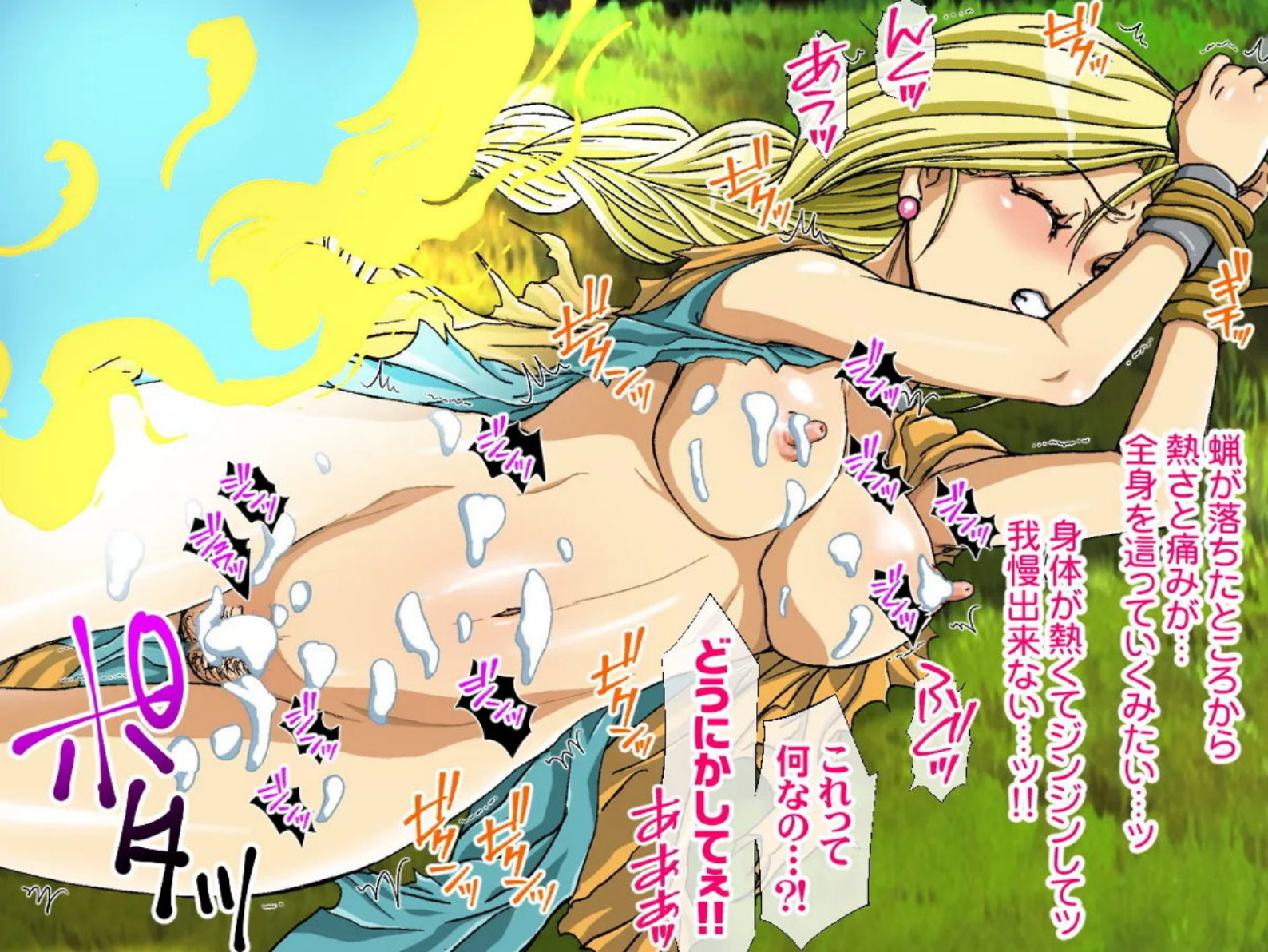
ジュッジュッ

乳首の次はクリトリス。
包皮の上に熱い蠟が垂れる。
弱点を狙い撃ちされても
ピアン力は悶える事しか出来ない。

くはッ!
あつっら…ッ!!

あッあッ…!!
ダメな所っばっかじ…
卑怯よッ!!





蝉が落ちたところから

熱さと痛みが...

全身を這っていくみたい...ツ

身体が熱くてジーンズにズレ

我慢出来ない...ツ!!

これって
何なの...?!

「ジュンがツキ!!

おおおお

おおおお

揺らめく光と熱と痛みに
浮かされてビヤッした力の頭の中が
霞がかっていく…。

あ…

ああ…ッ

ビヤッ…

ああ……

この炎を見ると……

頭の中まで……

揺らいで……くる……ッ





まものつかいの振り下ろした鞭によって
現実には引き戻させられ
お尻には鮮やかな赤い線が浮かび上がった。

ヒキキアッ

あッ

ヒキキアッ





あぁん

あッ

ゴッ
ゴッ
ゴッ
ゴッ
ゴッ
ゴッ
ゴッ
ゴッ
ゴッ

あッ
あッ
あッ
あッ
あッ
あッ
あッ
あッ
あッ

なん…で!?
モンスタ―に鞭で打たれるとか…
なんでこんな屈辱
受けなきゃいけないの…ッ!?



も、もう何処を
打たれてるのか分からない…
体中が熱くて…どうにかなるっツ!!!

ああッ

ひゃうッ

あぶらッ

ビクッ

ハ
ニ
ス
ト
ー

ビクッ

ビクッ

ビクッ

あッ

ああッ

ハ
ニ
ス
ト
ー

ビクッ

ビクッ

ビクッ



ジンジンして...もお...
体がおかしくなっちゃったのかな...
痛くない...かも...ツ

ああ...んあッ

んああッ

んあッ

ああ...ッ

ゴキゲン

はあッ

あッ

あッ

あッ

あッ

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

あッ



鞭責めが終わってても火照りが引かない
ビアンカの股間からはエリミネーターの
残滓とは違う体液が滴り落ちていた。





ア
ッ
ッ
ッ

ッ
ッ
ッ

「……めめーッ!!
「……度は何よ!?
「……悪いッ!!

ニヤッ

こっ、来ないで…ッ

もうッこれ以上
私に触らないでッ

やあッ

あま…

体が火照って…
自分の体じゃない
みたいで怖いッ

まものつかいと入れ替わりで
新しいモンスター・ジェリーマンの
腕がビアンカに迫る。



ああん！！

熱くなってる肌を
なぞられると…

気持ち悪いのに…
違うゾワゾワがくるン！！

粘着質の柔らかい腕がピアソカの
肌に張り付くと、感触を
楽しむように表面を這っていく。

あ…
んあま…

ニエ〜

ニエ〜



ツいやツ!
オツパイ揉んじや
ダメエ〜ツ!!

揉まれると...なんだか
気持ち良くなつちやうからツ!!

触られてたのにならぬ
乳首がジンジンするツ!!

あッ
あッ

毛
毛
毛
毛
毛
毛
毛
毛
毛
毛

まっすぐ胸に辿り着いて弄ぶ。
鞭打ちとは真逆のねっとりした
責めに肌が陥落する。

んッ

あぁん

あぁん

オツパイいやあ...

あ

あぁん

ああ...乳首触りたいツツ!!
乳首が切ないのおツツ!!

ジエローマンの腕が胸を揉むことに乳首が硬く勃起。ゴロゴロにじこった乳首は刺激を求めてヒアヒアを苦しめていく...

ムムム

ムムム





キヤあッ
いっいっあッ

そこはダメッ!!
もうこれ以上
辱めないでッ!!

ズム

キム

も、もう犯されるのは
絶対にイヤッ!!

ああんッ

キム

キム

股間にもめるりとした腕が密着。
エリミネーターによる破瓜の
衝撃を思い出して体が強張る。

ひあああ〜

擦るのダメーッ!!

そ、そいつ弱いのッ!
そ、そいつかりされたら
もっもあ…ッ

おっおっおっ
おかしくなさる〜ッ
助けろッ

陰唇や陰核を擦られ過剰な快楽が
ピアンカを襲う。弱点を執拗に
蝨く責めに追い込まれていく。





包皮を剥かれた陰核本体が
直接刺激を受け、快楽の暴力に
目の前が白く弾けた。

おあッ
おあッ
おあッ
えッ!? 何これッ!?
ダメダメッ!!
気持ち良すぎなッ...ッ!!

ムニ

ドゥラララ

ガッ

ガッ

ガッ

ムニ

ハズル

ハズル

すごい強いッ
強すぎいッ!!

あああああ

ああッ

ああああッ

ああああッ

モニ
モニ
モニ

ああああッ

ああああッ

ああああッ
ああああッ
ああああッ
ああああッ
ああああッ
ああああッ
ああああッ
ああああッ
ああああッ
ああああッ

強制絶頂後も
止まらないクワ責めによって
イキっぱなし状態に陥っていた。

同時は無理ッ!!
もつと気持ち良くなっちゃっ!!

ああまた来るうッ!!
大きいのが来ちゃっ!!

あッ

もッ無理いッ!!

やっあッ!!

止めて止めてッ!!

ゼッ

あッ

あッ

あッ

あッあッあッ
あッあッあッ
あッあッあッ

モッ

モッ

モッ

あッあッ
あッあッ

あッ
あッ
あッ
あッ
あッ

多数の腕で弱点を同時責められ
ピアンカの体は面白いように
何度目かの絶頂を迎えた。



あッ...

やっど...離れたら...ッ!
これ以上続いたら...
おかしくなつてかも...ッ

あま...ッ

アッ

んま...

ピアノ力を覆っていた塊が離脱。
余韻が強く残りながらも
解放されたことに安堵する。



ちょッ!!
なにッ?!

こんな格好!!

こ、今度はなに…?!
モンスターの大事な所が
丸見えに…ッ

ッ

だがすぐに背後から太ももを
左右に割られて興奮しきった
裸体が曝け出された。





ああ……ッ
今度は何をやるのッ!?

こゝ 来ないで!!
これ以上ッ
私に近寄らないでえーッ!!

勃起乳首をスモールグールの舌が舐ると強烈な快感が全身を突き抜ける。

あぁんッ

な、なにっ?!
乳首があ〜ッ!!

あんッあぁッ

ぐわっ

あぁ〜

んッあッ

んんん

んあッ

あぁッ

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん



反対側の乳首にも舌が絡まり
転がされ捏ねられ擦られて
執拗に弄られていく。

ひゃらッ

うそッ?! なんでなの?

乳首がこんなに
気持ちいいなんてッ!!

あッ

ああッ

フッ

フッ

フッ

そっちも!?
同時にされたら…!!

ジーンジーンするのぉッ!!
乳首おかしくなっちゃっジーン!!

んあッ

フッ

フッ

フッ

フッ

あッ

あッ

フッ

フッ

無防備な陰部に別の
スモールグールの舌が絡み
クリトリスを刺激します。

あああ〜ッ

そこは触らないでッ！
クリトリスは
敏感すぎるッ！！

これ以上
いきたくないッッ！！

ゲル
ゲル
ゲル

フイ
フイ
フイ

ヒ
ヒ
ヒ

やああッ

ふあッ

んん
あッ

刺激が強いッ！！
強すぎるッ！！

ああんッ

今そこ責められたら私
本当にどうにかなくなっちゃうッ！！
絶対すべイヤっちゃう！！



スモールグルールの責めは止まず……
処女を失ったばかりのこの女はすぐに
絶頂まで追い上げられていく。

あふッ
はふう…ッ

またイツちやった…
イカされちやった…
モンスターに私…思いつきり
イカされちやった…!!

あッ…

ああッ…

あッ…ああッ…

私の体どうしちゃったの…
どうなっちゃったの…
怖いよお…ッ





ひやっ
そ、そこはきつ
入れないでえっ!!

いやっいやあ~~~~!!

放心する暇もなく舌が蜜口に触れた。
エリミネーターに破瓜された衝撃を
思い出してピアンカの体が強張る。

おっ
おっ
おっ

同時は
いっ
いっ

コリ
コリ

コリ
コリ

コリ
コリ

コリ
コリ

コリ
コリ

コリ
コリ
コリ

コリ
コリ

あぁん
あぁん
あぁん

すごい感じちやってるッ!!
そんなとこ自分で触っても
平気なのは何で?!

ハハハ

ハハハ

どうして!?

感じたく
ないのに!!

あぁん

ハハハ

気持ちいいッ
あぁん音が凄いいッ...

恥ずかしいッ!!
でも気持ちいいッ!!

あぁん
んあぁん



あひい〜

も、もう…

これ以上続いたら…ッ
すぐイッちやうツ!!

もおツ舐めないでッ
ダメツ来ちやうツ!!

おちよ

ぬお

おちよ

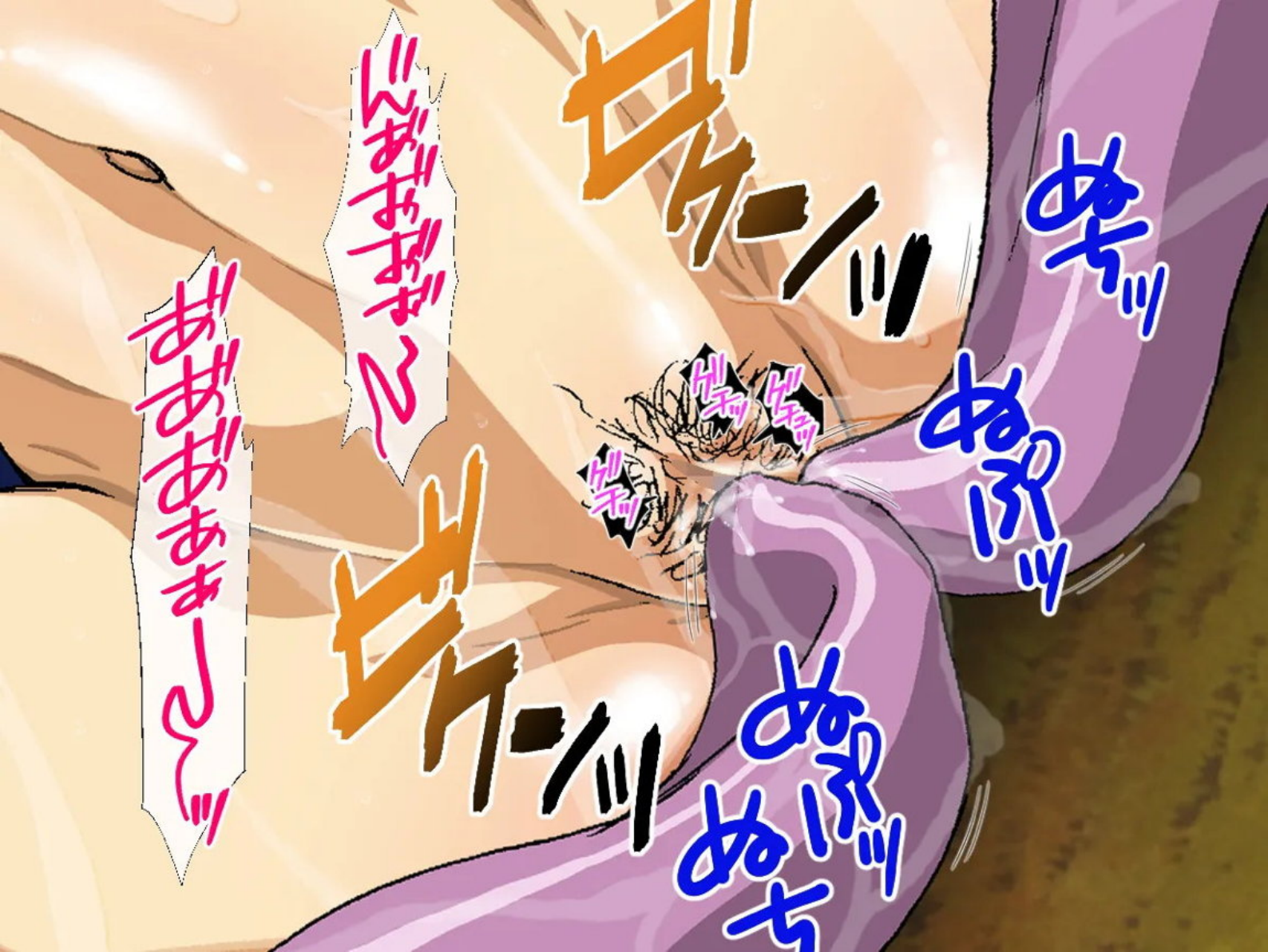
あああ〜

ダメツ!!
間に合わな…ッ!!
ダメエエ〜ッ!!

おおお

いやあ〜

絶頂から逃れる方法が分からない。
焦るピアンカを追い込むように
スモールグールの動きも早くなり…。



どーん

あーあー

あーあー

へろ
へろ

どーん

あーあー

あーあーあー

あーあーあー

強すぎる快感に抗えずに
絶頂した現実と余韻に震える体との
落差にヒアノ力は放心してしまった。

あ...ああ
ああッああ...

また...モンスターに...
イカされた...ッ!!

んあ...

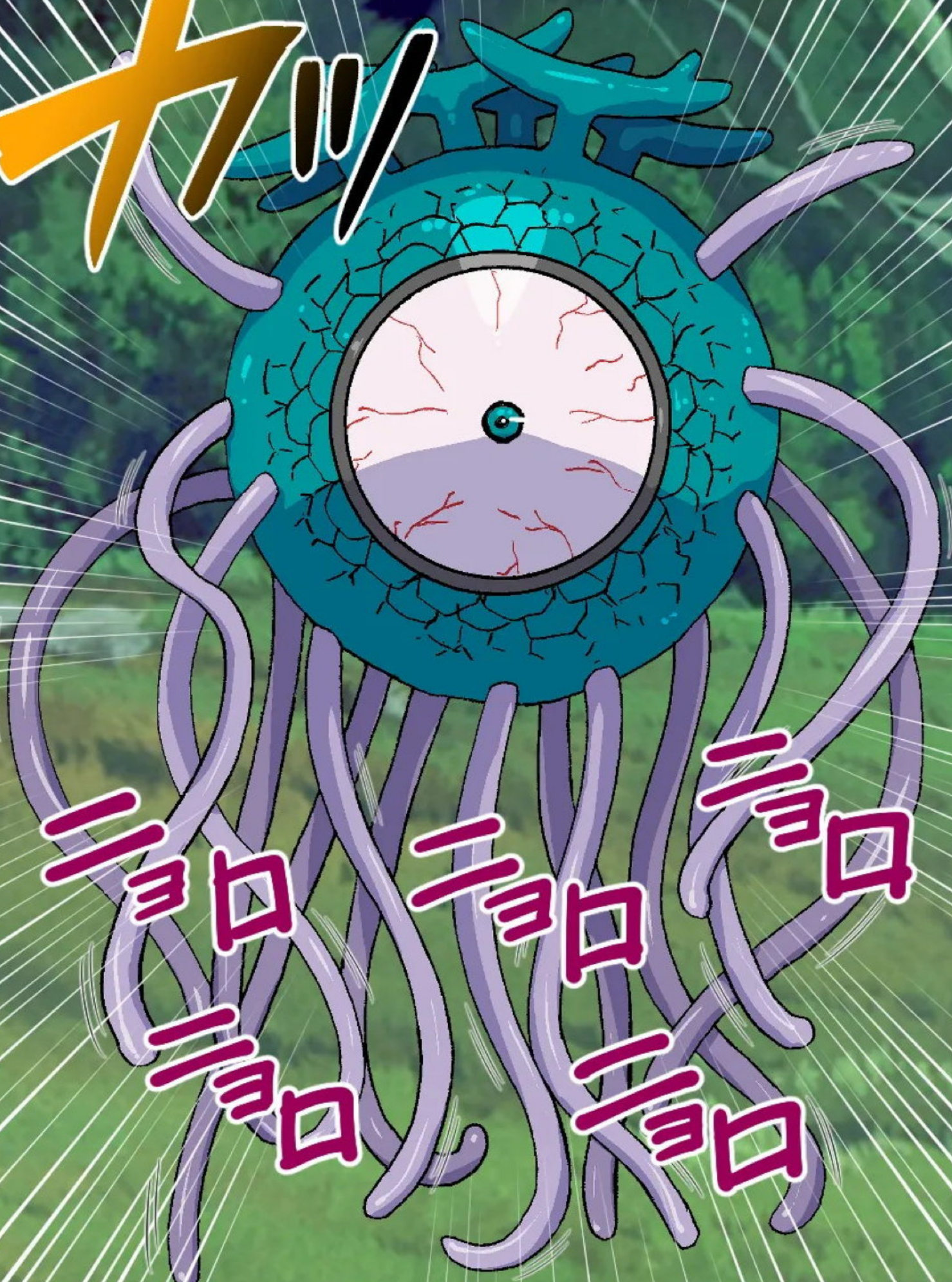
あッッ

ああ...ッ

体がすぐにイッてしまう...
もう...イクのが
止められない...!!



カッ



ニョロ

スモールグールと入れ替わったグークアイがビアンカの
いったばかりの陰部を巨大な瞳で凝視する。
またモンスターの慰み者になる未来を想像して懇願するが…。

も、もうヤダア…
私を解放してッ

あ…ッ
はあ…

み、見ないで…ッ

まだ…ビクビクが
収まってないんだから…ッ

どうして…
次から次へと…
私をこんな目に合わせるのッ！



ああ…触手が何本も…
うねうね動いてるツ！
あれで…大事な所を…ツ！！

またイカされる…また…
気持ちよくされちゃう…ツ

あ…あ…ツ
そ、そんな…

いや…

迫り来るダークアイの触手を見て
ビアンカのまんこの奥から
透明な蜜が滲み出た。

スル
スル

ズ
ズ

とろ…

陰唇を左右に剥いて蜜穴が丸見えになった。
ピンクの初々しい粘膜とその奥の熟れた
赤い肉壁が曝け出されてしまう。

いやあーッ!!

あッ

ぽあ

なに? め、捲ってる?!
恥ずかしい所が丸見えッ!!

広げないでッ!!

見ないでッ!!
見ちゃイヤアッ!!

自分の体内に入ってくる触手の感触に
全身が戦慄く。しかし触手はお構いなしに
ピアンカ力の膣内を蹂躪していく。

奥に来るうーッ!!

とんなッ

ああ

ビッ

ビッ

ビッ

ビッ

触手がーッ!

私の中で
動いてる〜ッ!!

や、やだあッ!!

気持ちいい〜ッ!!

なんで?
なんでなのお?

んっッ

あッあッ

絶頂を繰り返して濡れそぼった膣は
触手を簡単に飲み込み奥へと誘い込む。
初めての内側の快感にビアンカは戸惑う。

エリミネーターの時は
痛いだけだったのに…
なんでこんなに感じちゃうの?!

ほっほっほっ

いやあぁ〜ツ

中をツ
中を擦らないでエツ!!

はぁツ

あぁツ

どうしようっ!

おまんこが気持ちよすぎるとっ~~~~ツツ!!
掻き回されるの気持ちいいよお~~~~!!

奥っ掻き

回さないでエエ

あぁツツ!!
あぁツツ

ヒッ
ヒッ
ヒッ

ヒッ
ヒッ
ヒッ

ヒッ
ヒッ
ヒッ

ヒッ
ヒッ
ヒッ

あぁ
あぁ
あぁ

あぁ
あぁ
あぁ



あッあッあッ

そんなにつ激しく
グポグポしないでえッ!!

あッッッ

刺激が強すぎて……っ
腰が……動いちやうっっ

あッッ

はぁッ

ハメエッ

気持ちよく
なっちやうっッ!!

ハッハッハッ
ハッハッハッ
ハッハッハッ

動く腰を止めたいのに止められない。
動きたび触手が擦る角度が変わって
余計に気持ち良くなってしまう。

びびっ

そ、そこはお尻のツ!!
まさかッ
そんなとこにッ?!

ああッ
いやッ

うらやまッ

排泄の場所を触手が触れると
全身の肌が粟立つが、触手は躊躇なく
窄まる襞をこじ開けた。

あああッ
穴を抉じ開け
ないでえッ!!

ぽぽッ
いっほッ

いっほッ



おあッ

お尻に〜ッ!!

お尻なんておぞましいのに！
気持ち悪いのに！

き、気持ちいい〜ッ!?

うっッ

おっッ

おっ

おっ
おっ
おっ

おっ

いっほッ
いっほッ
いっほッ

抜いてツ
抜いてえ〜ッ!!

おっ

いっほッ
いっほッ

おっ

排泄する穴に外側から異物が侵入する。
初めての感触に全身が強張るが、それも一瞬で
すぐにそこから沸き起る快感に混乱する。

クリトリス強いッ!!
そんなっ擦っちゃ
イヤアツ!!

おあッ

おっ奥ツ激しいッ!!
ズボズボしないてッ!!
おまんこ壊れちゃッ

はひッ
お尻が
気持ちいいなんてッ
あり得ないッ!!

肛門と膣とクリトリスの
3か所同時責めは強烈で
ピアノ力はどんどん狂わされてくへ。



おっぴいッ

ダメエ…ッ

気持ちよすぎるッ!!

おっッ

おっッ

おっッ

おっッ

気持ちいいのが止まらないッ!!

おっッ

おっッ

凄いい〜ッ!!

モンスターに犯されるの
気持ちいい〜ッ!!

おっッ

おっッ

おっッ

おっッ

こんなの知らないツ!!
こんな気持ちいいの
知らないツ!!

おおおツ

ズンズンツ

おおおツ

ズンズンツ

もっとお〜ツツ!!
もっと擦ってツ!!

ああ〜ツ

ズンズンツ

ズンズンツ

ああ〜ツ!!

気持ちいいのが止まらないツ!!
もっとグポグポしてえ〜ツ!!

モニスターに犯されているという屈辱よりも
凄まじい快感が勝ってしまったヒアンコ力は
恥も外間も忘れて更なる責めを強請った。



もおツ!!
もうっつくツ!!
あゝあゝあゝ

いくツ!!
イツぢやううううツ!!
ひいあゝあゝ

快感に堕ちた途端、ピアンカ力の
感度が上がり、衝撃が突き抜けて
最大級の絶頂が襲う。

あゝいっ

あゝあゝ
あゝあゝ
あゝあゝ

あゝあゝ
あゝあゝ
あゝあゝ

あゝあゝ
あゝあゝ
あゝあゝ

あゝあゝ

あゝあゝ
あゝあゝ
あゝあゝ

あゝあゝ

き、きもぢい〜…ッ

またいつちやつたあ…ッ
すご、く…イチやつた…
まだいつてるかもお…

おあ…
お…ッ

あああ…
こんなの凄すぎるんニ
はあ…さうじお♥

はひ…

あッあ…

ああ…もつとッ
気持ちいいのが欲しいよお…
もつと…私を虐めてえ〜…ッ

連続絶頂でピアニカの理性が壊れた。
数刻前まで処女だった乙女は
自分から快楽を求める雌へと変貌していた。



ニャラララ



素敵……♡

今度はどんな風に
私を犯してくれるの……？

あ……あッ……♡

ピアスの力の陰唇からは大量の液体が滴り落ちていく。…そこには恐怖も羞恥もなくあるのは犯されることへの期待だった。

ああ…これから後ろから責められるんだ…♡

期待でおまんこから恥ずかしい汁が垂れてるのが分かつちゃう…

はあ…あま…

はあ…

あま…ツ

ふあ…

あま…

んあ…

じま

しっ…



おどろるほうせきが操る球体が連なった
アイテムを肛門に宛がわれ、初めて見る
物に驚きつつ肛壁が期待します。

ひゃあッ
そ、それは…ッ
そんな大きい物を
お尻に…?!

大きいけど…でも…
それで私のお尻の穴を
また弄って欲しいッ!

お尻があんなに気持ちいいなんて
知らなかったから…♡



あひいっ

お尻の穴にツ！
硬くてポコポコしたのが
入っていくう〜〜ツ！！

あおっ

あッ

あッ

あッ

あッ

あッ

あッ

あッ

太い〜ツ！！
さっきの触手より太くて
硬いのがお尻の中を擦っていくツ！！

あッ

お尻の穴が広がっちゃうツ！！

あッ

あッ

あッ

あッ

あッ

あッ

あッ

あッ

ピアンカの肛穴に消たり戻ったりする球。
散々触手に蹂躪された穴は大きな
異物を難なく飲み込み悦んだ。

あざあざ

出っ張ってる所が
気持ちいい所を
擦ってくの堪らないツ!!

はひっ

あざあざ

ひあん

ズボズボされるのいいツ!!
もっと穴を出し入れしてツ!!

お尻の中が全部

引き出されちゃうみたいツ!!
それがイイツ!!



あざあざ



おおおお〜

凄いのおツ!

お尻つて…す〜ッ

気持ちいい〜ッ♥

おおお〜

おひッ

タタ

タタ

お尻を硬いので穿つて〜ッ♥

もつとお…っ

もつとズボズボしてッ♥

お尻を硬いので穿つて〜ッ♥

お尻い〜ッ♥

はひッ

タタ

タタ

タタ

ゴッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ



球体の異物がアナルから一気に引き抜かれた。
瞬間、初めての強烈な刺激にピアン力は
悲鳴にも似た声を上げて絶頂を極めた。



あ...あ...
頭が真っ白になる...る...ッ♡

おっおっおっおっ♡♡♡♡

おっおっおっ♡♡♡♡

おっおっおっ♡♡♡♡

はっはっはっ♡♡♡♡

はっはっはっ

はっ

はっ

はっ

モンスターが離れるとピアンカの穴は切なく疼いて更なる異物挿入を求めた。雄を誘うように尻を揺らして請うた。

おまんこ…お尻もツ切ないのぉ!!

おまんこ切ない…ツ
ずっと放っておかれたから疼いて我慢出来ないツ

あ…ツ

お尻ももつと気持ち良くなりたいツ

お願い…ツ
誰でもいいから私を犯してツ♥
早く…ツ

はあ…
はあ…





ガッ
ガッ
ガッ

キキッ
キキッ

あッ…あああ…
おちんちん…♡

凄…
なんて遅いおちんちん♡

…すごい！
大きいツ♥

はあ…
ふふ

はふッ

なんて長いのツ！
ああ…アシでおまんこ突かれないツ！！
絶対気持ちいいツ！！

はやく…おまんこに入れて♥
私のおまんこズボズボしてーツ♥

質量と長さを誇る男根にビアンカの体が期待に震えた。散々弄ばれて蕩けた体には眼前の凶器はもうご褒美にしか映らない。

早くう♥

ビキ

ビキ
ビキ





念願のラムポーン男根がピアンカ方の
膣にぶち込まれると、最初から容赦ない
腰使いで狭い膣を蹂躪していく。



おぼおぼ〜♡

おぼおぼ

おぐまで

来てくる〜♡

抜いちや嫌ッ

おぼおぼ♡

おぼおぼ

おぼおぼ

おぼおぼ

おぼおぼ

おぼおぼ

おぼおぼ

おぼおぼ

おぼおぼ

おぼおぼ

おぼおぼ

おぼおぼ

おぼおぼ

おぼおぼ

おぼおぼ

おぼおぼ

おぼおぼ

おぼおぼ

おぼおぼ

おぼおぼ

おぼおぼ

おぼおぼ

おぼおぼ

おぼおぼ

おぼおぼ

おぼおぼ

おぼおぼ

おぼおぼ

おぼおぼ

おぼおぼ

おぼおぼ

おぼおぼ

おぼおぼ

おぼおぼ

おぼおぼ

おぼおぼ

おぼおぼ

おぼおぼ

おぼおぼ

おぼおぼ

おぼおぼ

おぼおぼ

おぼおぼ

おぼおぼ

おぼおぼ

おぼおぼ

おぼおぼ





肉壁を擦りあげエグい音を立てて最奥を突きまくる。人間相手では味わえない強烈な衝撃と快楽でビアン力が壊れていく…。

おんんんん

おんんんん

んんんんん

おんんんん

んんんん

おぐ凄いいららら
お腹が響くうららら

ちおんちおんちおんちおんちおんち
ちおんちおんちおんちおんちおんち

ゴッゴッ

ゴッゴッ

んんんん

んんんん

んんんん

んんんん

んんんん

絶頂を極めてもうムポーこの責めは止まらず
いった直後の膣を容赦なく擦り続け
いきつぱなし状態に陥る。

イッたのお!!
おまんこイッたのに
ジユボジユボとまらなびッ♡

ゴゴゴ



またイッちやひのぉ♡
ずっつとイッちやひのぉ♡

イギリスが
壊れちゃう♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡
おあッ
イぐのが止まらない♡

ハッハッハッ
ハッハッハッ
ハッハッハッ
ハッハッハッ

おあッ
おあッ

おあッ
おあッ

おあッ

おあッ

おあッ

おあッ

おあッ

おあッ
おあッ

おまおまおまおま~~~~~

せーえきがあーっ♡

おまんこにせーえきがあぁ~~~~♡♡♡



肉棒がズルリと引き抜かれると
膣内に注がれた白濁の液が
淫猥な音と共に大量に溢れ出て来た。

精液が零れちゃっつこ〜ん♡

いっぱい…♡

こんなにいっぱい…♡

抜いちやイヤア…ツ

ズルリ
ズルリ

あ…あまツ

きん

きん

げん

コボツ

コボツ

コボツ

コボツ

ん〜

ハッ

げん

きん
げん

きん



喉苦しいツ!!
でも口の中スボスボ
気持ちいいいいツ!!

口の中擦られるのが
こんな感じるなんてっ♡

おまんこイイツ♡
もっとなもっとなしてえん!!



ていっ

モンスターたちの性玩具と化した
 ピアンカは快樂に墮ち、自分から弱い
 部分への凌辱を望んで快感に酔った。

おまんこおっ
 グチユグチユツツ!!
 乳首もおっ

グリトリスいいーッ!!
 おまんこおっ!!
 おひりもおっ!!
 まっつっ

あまッ
 おおっ
 ああ

スルッ
 スルッ
 スルッ
 スルッ

スッ
 スッ
 スッ
 スッ



太いの素敵イッ!!

おまんこゴロゴロ
擦られるの可愛いわ!!

おまんこ

あはあッ

おまんこ

ゴロゴロ
ゴロゴロ

ゴロゴロ
ゴロゴロ

おまんこ

おまんこ

おまんこ

おまんこ

あはあッ

おまんこ

おまんこ

おまんこ

もっとッ!!
もっともっとおまんこッ!!

おまんこ

おまんこ

おまんこ





全部のせいじゃーん!!!

イクゥッ!!

イクゥゥゥ~~~~ッ!!!

おかあぁぁぁ!!!

ビュッ
ガッ
スッ
ッ

ガッ

ガッ

ガッ

ガッ

あぁ

んあ

あッ
あッ
あッ

もっとツツ...イきたい!!
もっと犯してえッ!!!

もっと中に出してッ
おまんこ濡りたいッ!!!

あッ
あッ

はッ

ガッ

おッ

ッ
ッ

ッ
ッ

ガッ

ガッ

セックス気持ちいい……ッ
モンスターに
犯されるのせいで……ッ

おおおーっ
おおっ
おおっ
おおっ

おおっ
おおっ
おおっ
おおっ

おおっ
おおっ
おおっ
おおっ

おおっ
おおっ
おおっ
おおっ

おおっ
おおっ
おおっ
おおっ

おおっ
おおっ
おおっ
おおっ

ぐっ
ぐっ
ぐっ
ぐっ

ぐっ
ぐっ
ぐっ
ぐっ

ぐっ
ぐっ
ぐっ
ぐっ

おおっ
おおっ
おおっ
おおっ

おおっ
おおっ
おおっ
おおっ

もお……何も考えられな……

気持ちいい……
気持ちいい……ッ

気持ちいいッッ

もつとおおー!

もつとおお〜〜!!

そこには人間・ヒアノカではなく
モンスターの慰み者
なり果てた雌がいるだけだった。

わたし…ずっと…**ムンスター**…**ムン**…**ムン**…

モンスターたちが…
わたしを全部を
気持ちよくして…**わんわん**…**わんわん**…

幸せなのお〜♡♡♡

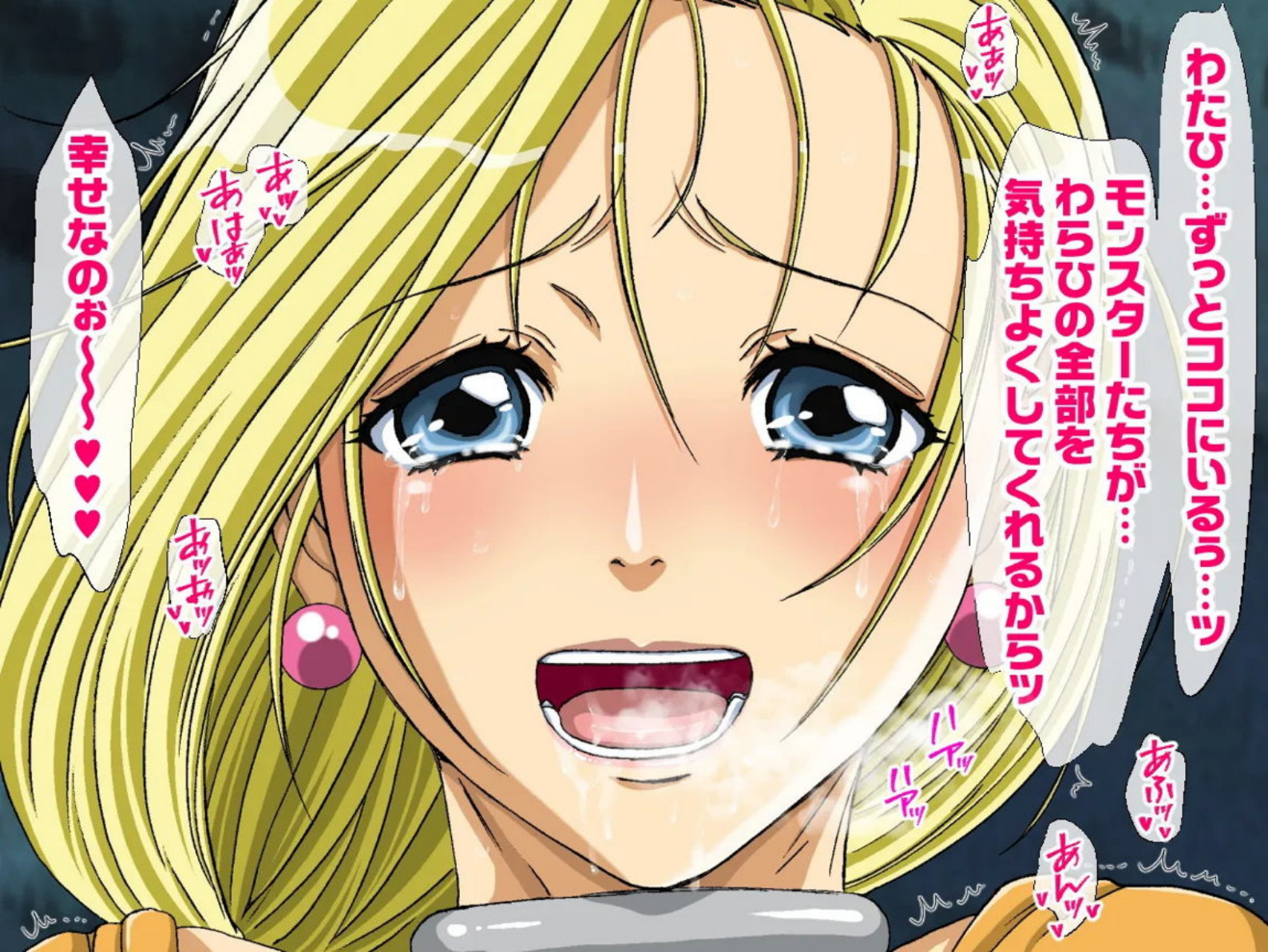
あッ
あッ
あッ

あッ
あッ
あッ

ハッ
ハッ

あッ
あッ

あッ
あッ
あッ



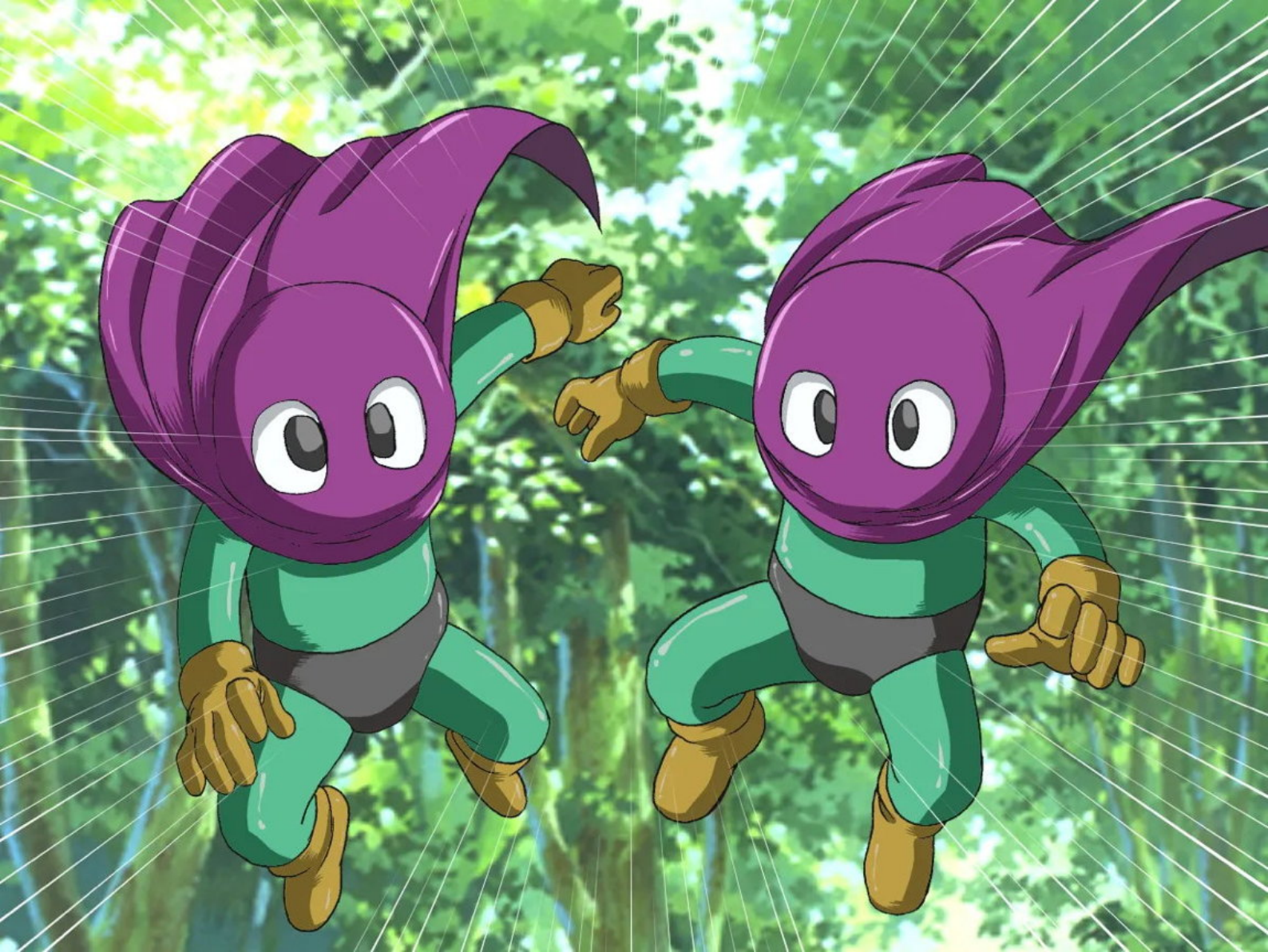
彼女たちが
絶頂地獄に
堕ちた話。

～ピアンカ編～

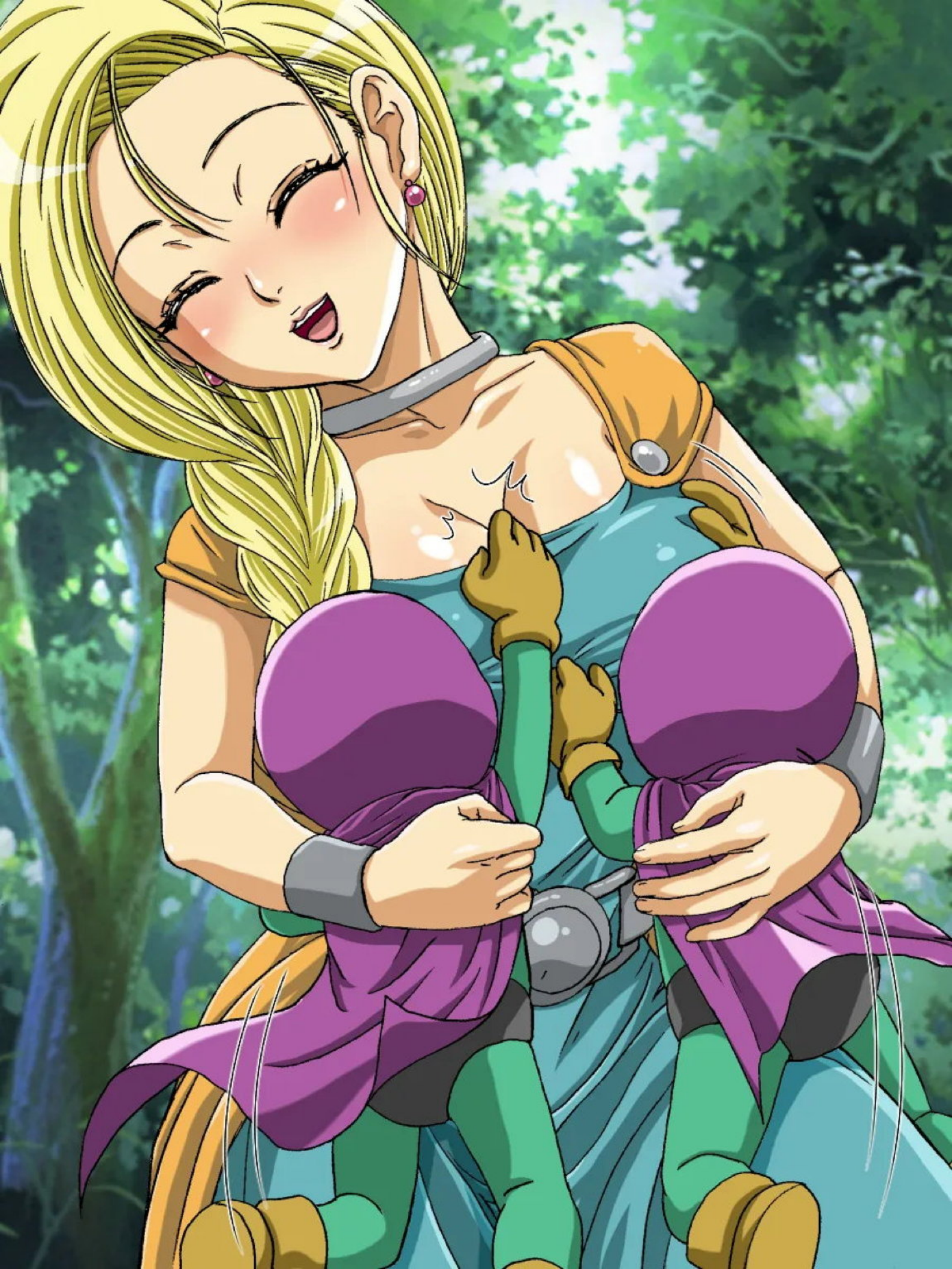
END













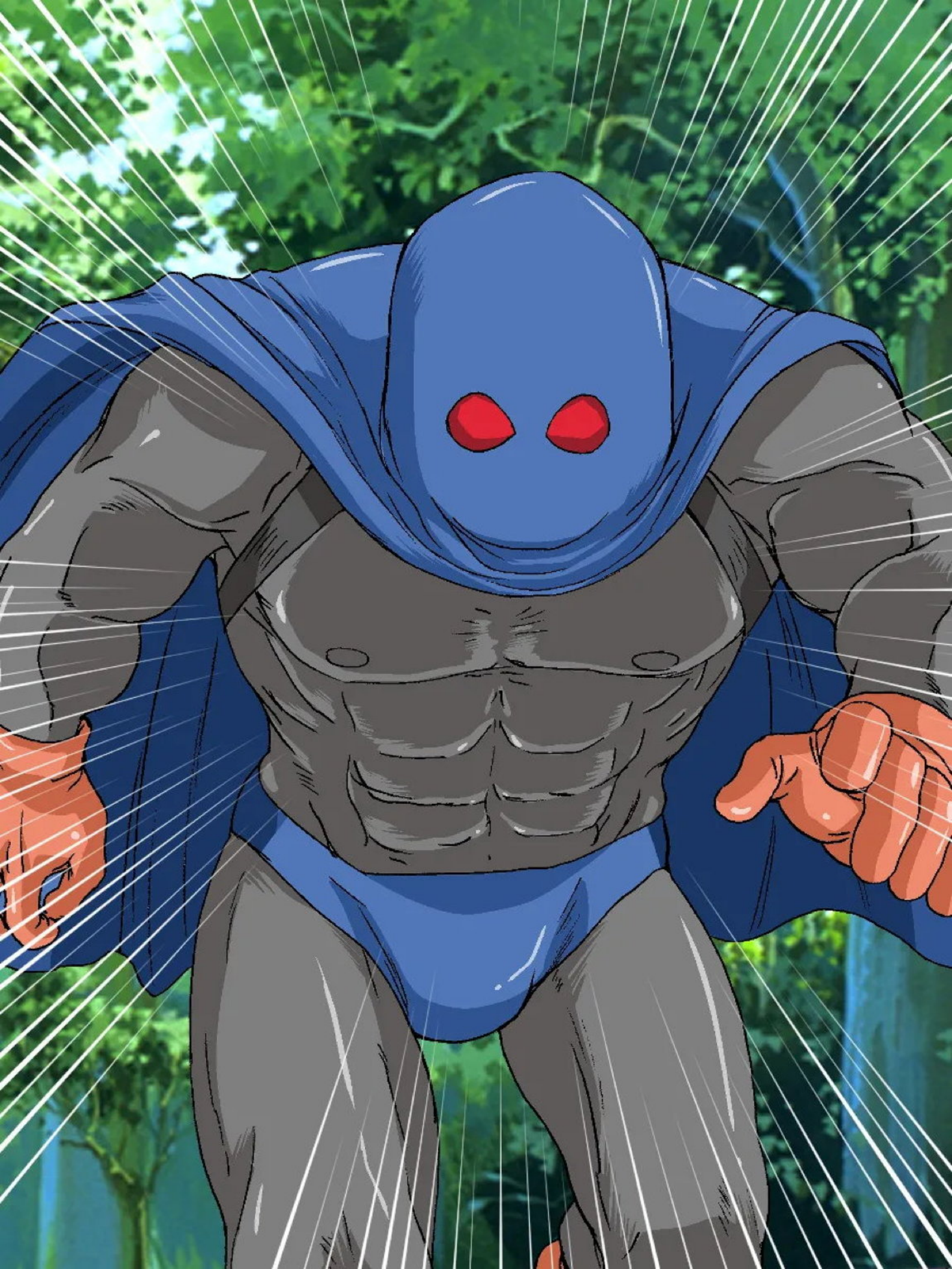


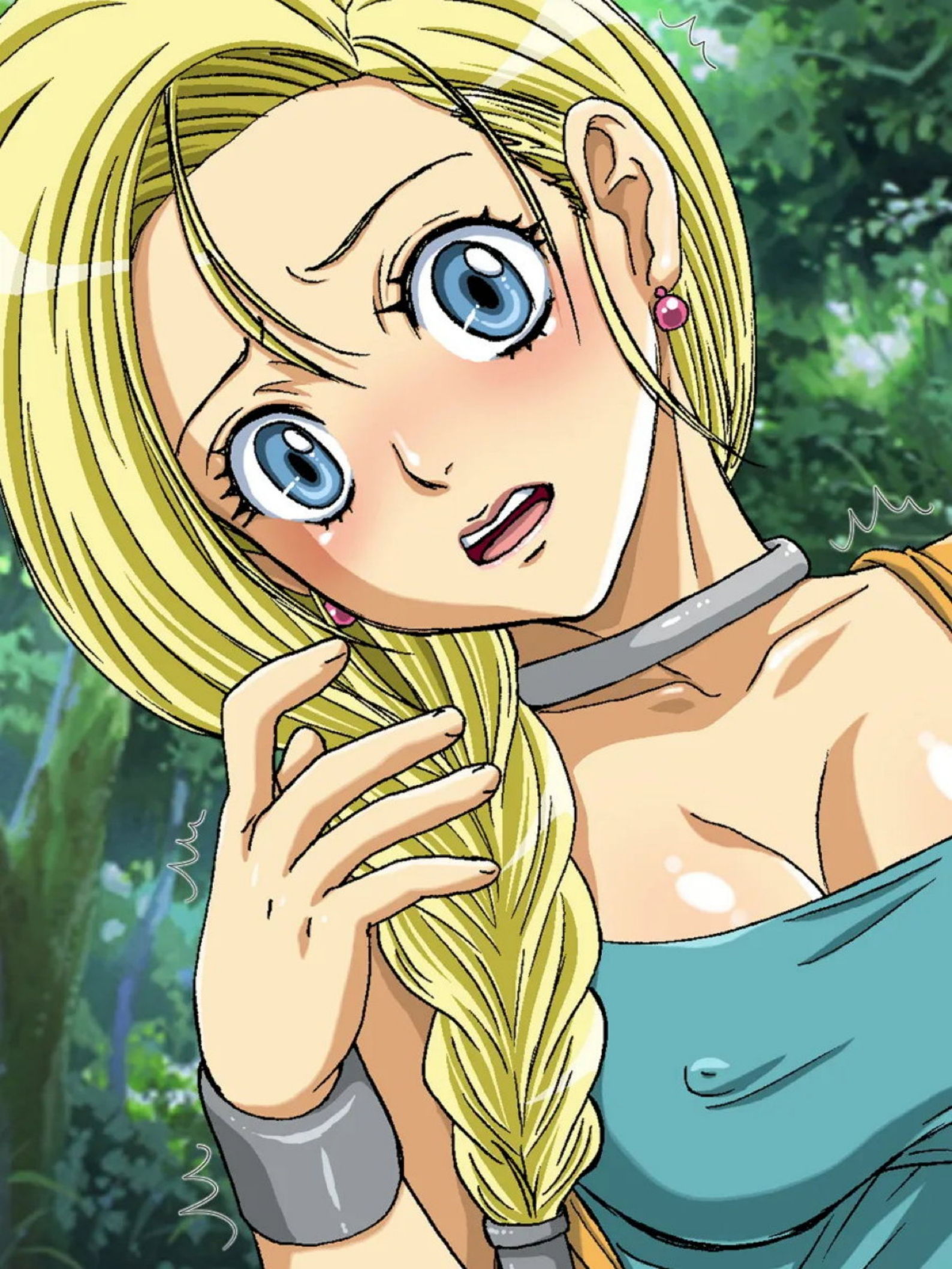








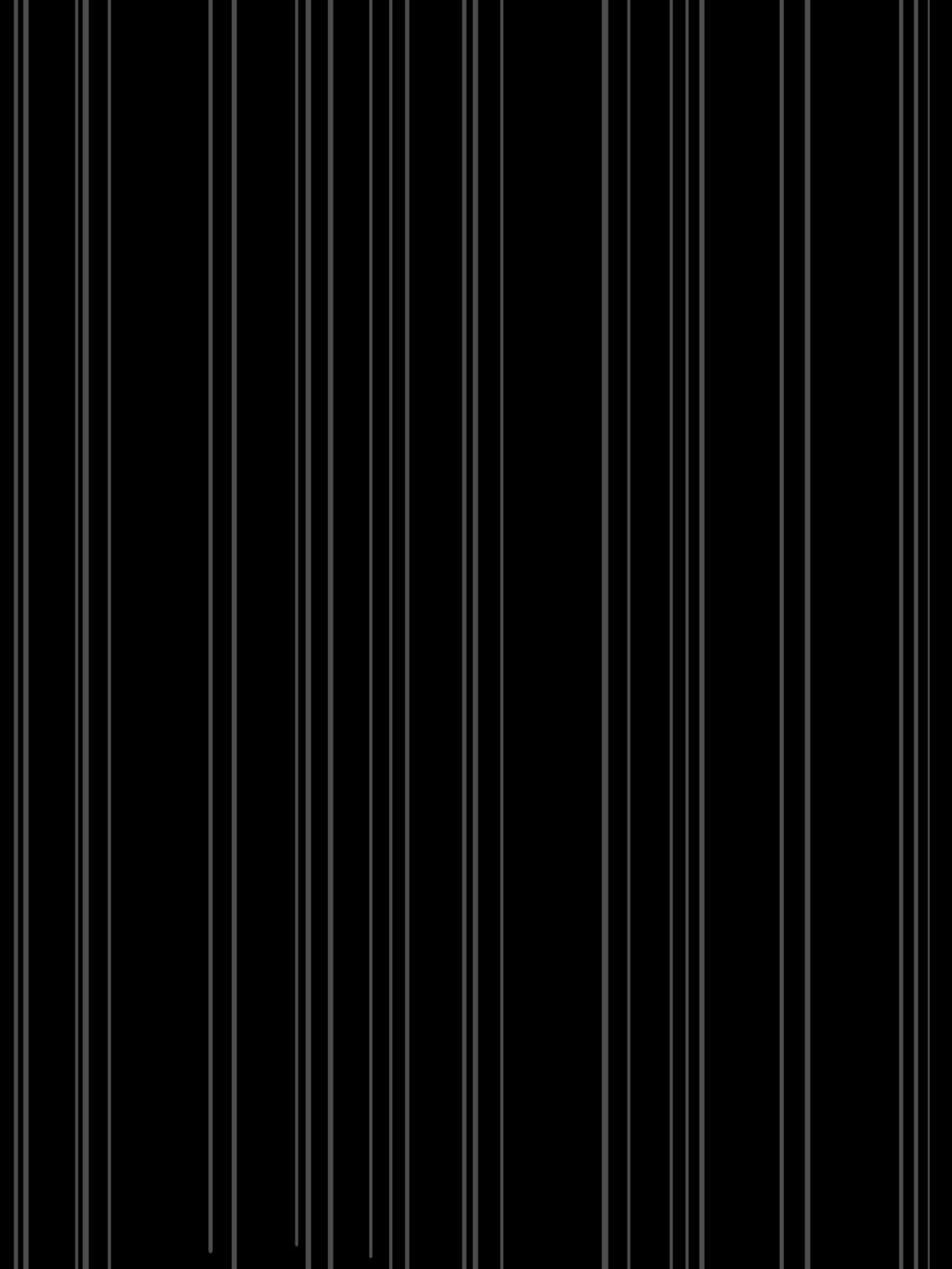






























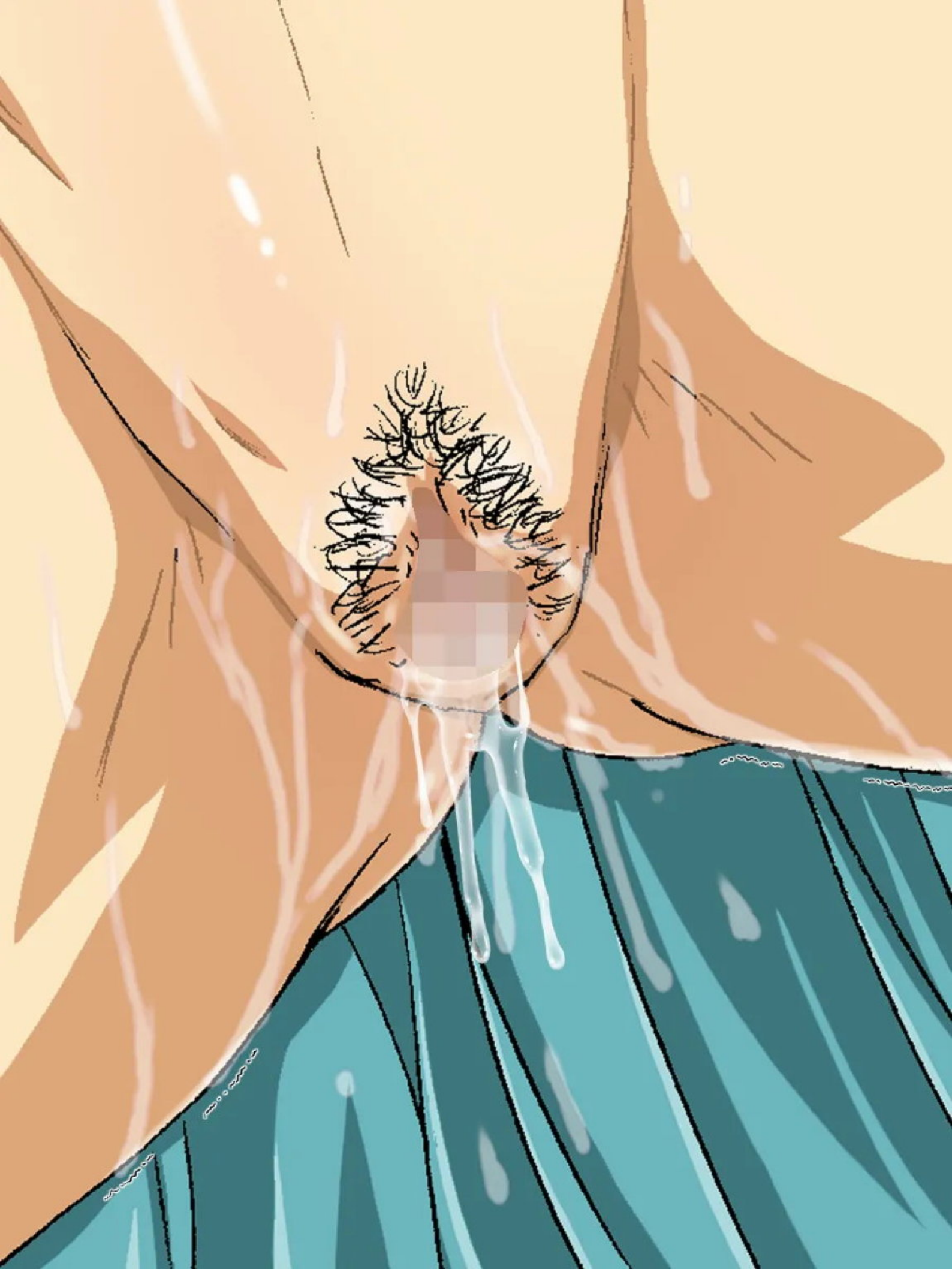
























































































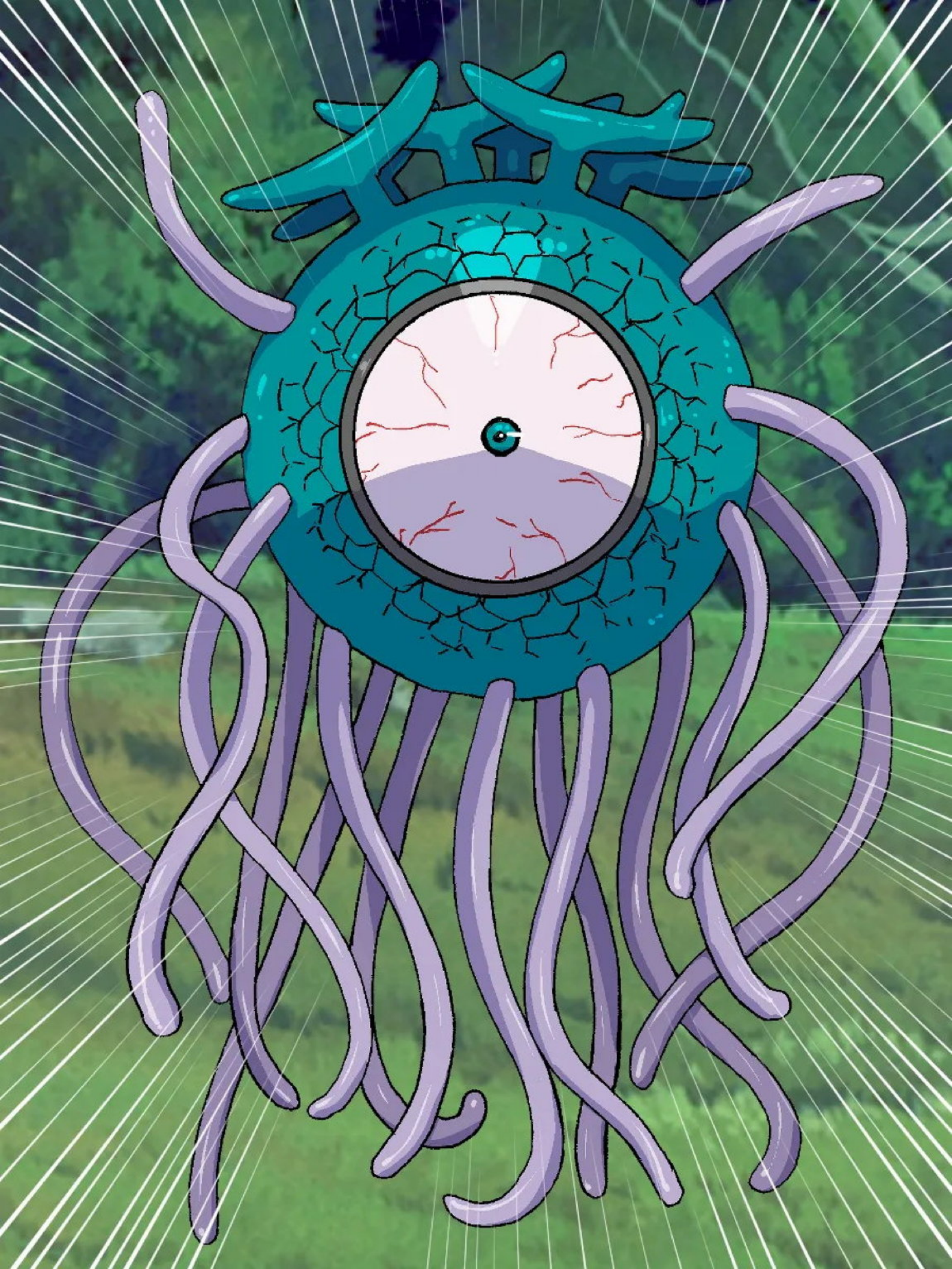
































































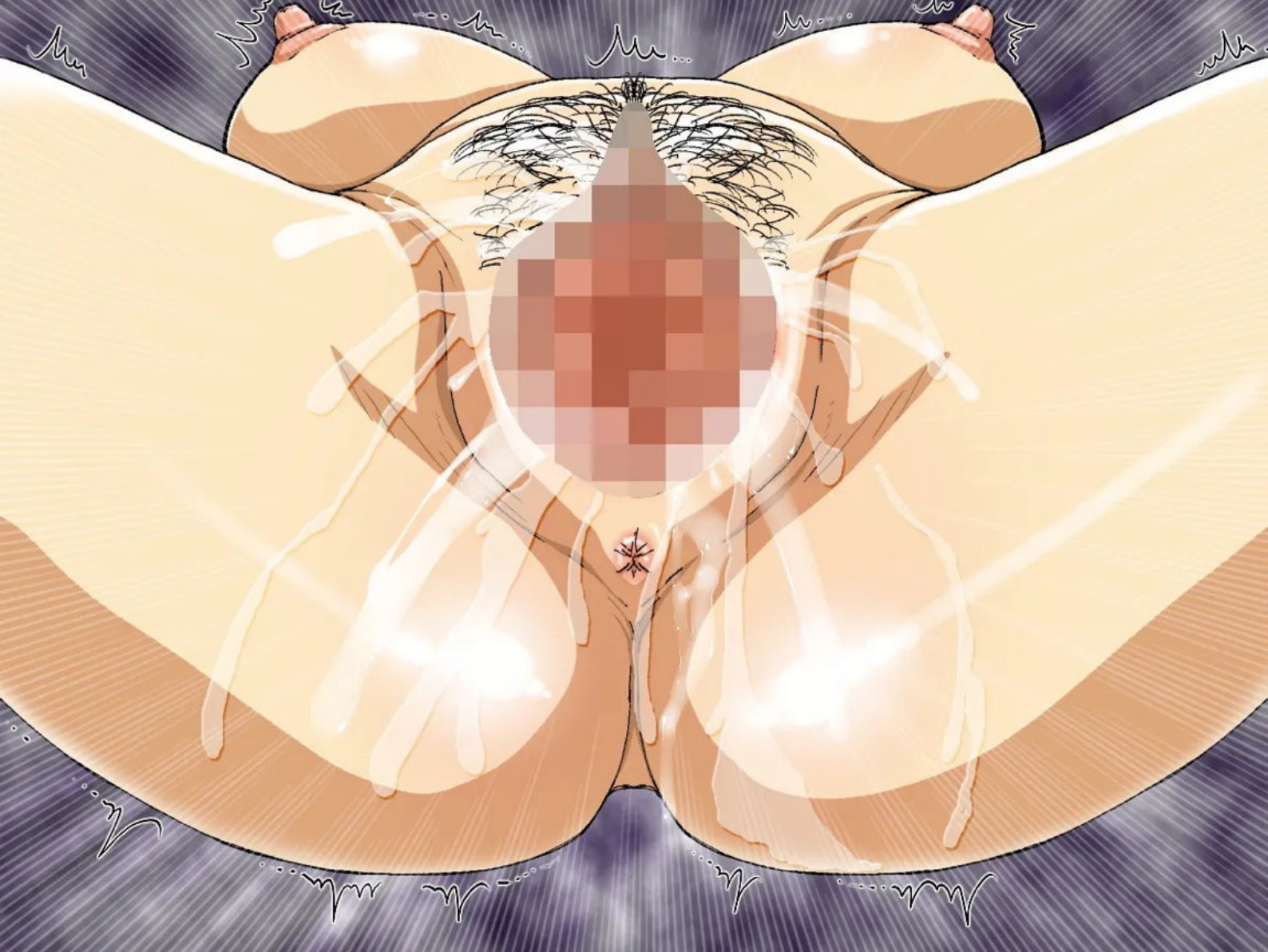














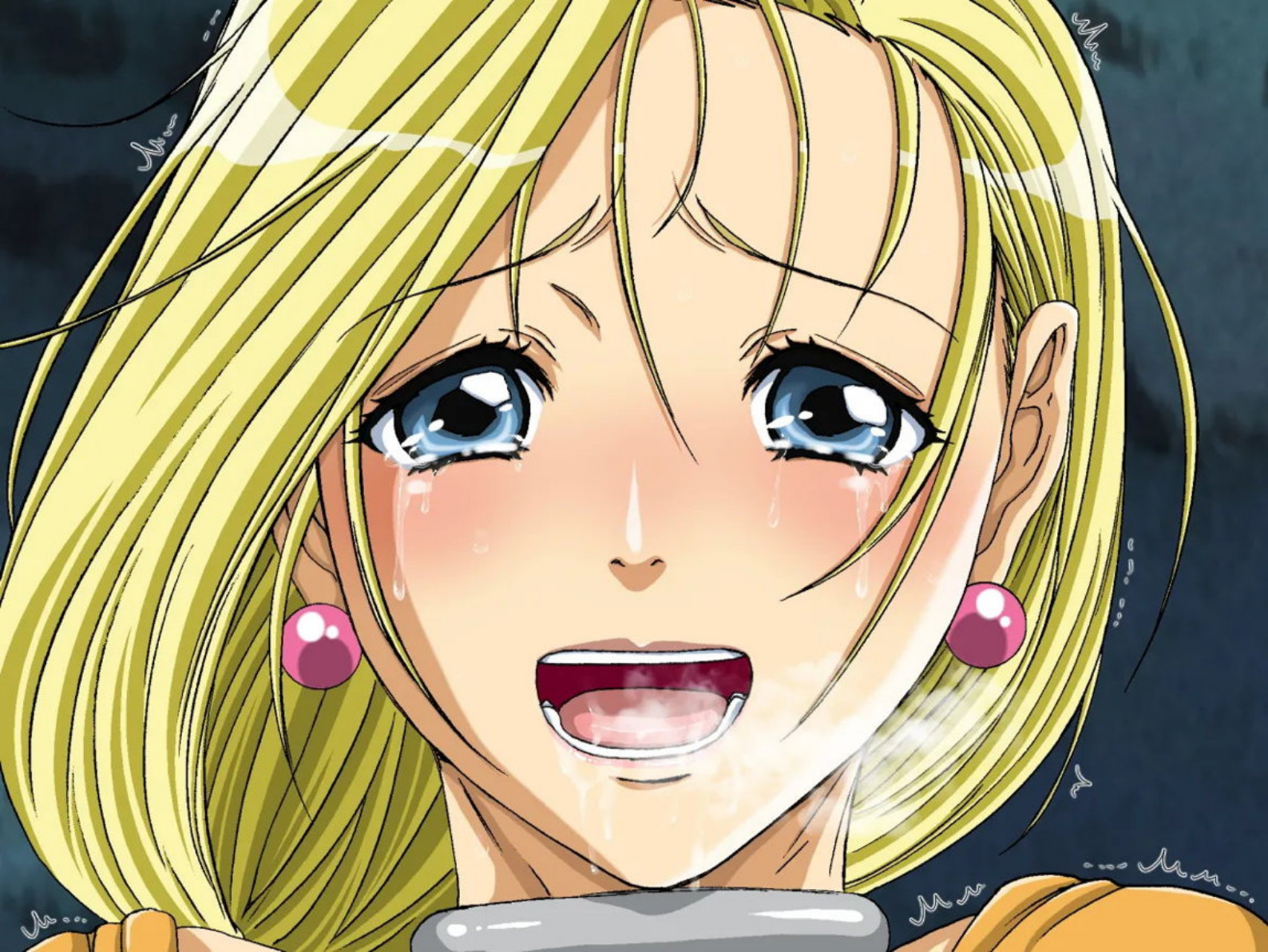












彼女たちが
絶頂地獄に
堕ちた話。
～ピアンカ編～

END